

市民活動推進事業に対するコメント概要

事業名	ばーりースクール					
実施団体名	ばーりースクール運営委員会					
事業概要	<p>【事業目的】 学校の指導では補いきれない学びの場、考える場を提供します。問題認識、問題提起、思考、解決、発展の経験を子供たちにさせ自分たちが国際社会、地域の一員であることを自覚させることにより、社会や地域に貢献する意欲、夢を持って個性を生かし生き生きと活躍できる可能性を引き出します。</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「世界の海で船を動かす仕事」 2. 「今治のハーブ博士に学ぼう」 3. 「ネパールにこんにちは」 4. 「親子味噌づくり教室」 5. 市内小学校各学級・児童館・図書館にSDGsの小冊子「私たちが目指す世界」を配布 6. 「世界の海で船を動かす仕事」の教科書作りと市内各学校等への配布 					
事業の発展性	山歩きを、山、川、海との関係がわかるような、広い視野を持って形にし、実施した。朝倉の山田クラブさんとイベントを実施する予定である。SDGsについて市民の方を対象としたセミナーを開催。					
補助額	市補助額	441,000円	総事業額	637,965円	補助対象経費	630,965円
コメント	実施団体	<p><事業を実施しての効果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海運についての話を通し、物流と世界、コロナにより起こっている現状について子供たちに伝えることができた。パナマ海事局の方にフォネティックコードと簡単な英語を使つての個々の名前当てをしてもらったが、子どもたちにはとても新鮮で英語を使う良い機会になったようだ。 2. 実際に展望台まで歩きながら草木の観察をすると、名前の知らないものがたくさんあり、子どもたちは興味津々だった。私たちが意識していない、落ちている小さな種や私たちが名前も知らない落ちている実に興味を持った子は、自分で図鑑で調べ、それでもわからなかったで、もう一度実が落ちていたところへ行きたい、という子もいた。子どもたちの好奇心をそそることができた。 ハーブがそこまで美味しいと思つてはいなかったようで、食べて驚いた様子だった。免疫力を高め、予防をしてくれるハーブに興味を持てたのではないかと思う。 ソーラークッキングでの焼リングも無事でき、テントづくり、ロープの結び方、釜でのごはん炊き、充実した体験活動が行えた。 3. ネパールから小学校1年生から中学校1年正の子が参加していたが、優秀でみんな自分で英語を使い、簡単な自己紹介や説明を行った。夢を語る部分では、ネパールの子たちは一人を除いて医師。なぜなりたいか、なつて何をしたいかは、貧しい人たちを助ける、病気の人たちを助ける、だった。そして得意科目も一人を除き数学が好きで、日本側の参加者を驚かせた。違いと共通点を知る良い機会だった。 4. 地球上に存在する菌たちの世界。宇宙を絡めた話、良い菌も悪いとされる菌もちゃんと役割があること、自分の体と菌の関係、見えない世界にいる菌の知らないことをたくさん知り生き生きしていた。売られている味噌には生きた味噌とそうでない味噌があること、なぜ生きたお味噌が大切なのか、お味噌はどうやって作られるのか、よくわかつてもらえたと思う。 5. ある小学校の先生に冊子の内容について聞いたところ、とてもわかりやすく使つてみたいとのことだった。昨年4月よりカリキュラムにSDGsの内容が導入されている。どのように子供たちに教えたらいいか悩む先生方がいる中で、今後役に立てていただけることを期待する。 6. 先生方の授業コーディネート時のお役に立てていただけたらと思う。 <p><事業を実施しての問題点></p> <p>参加費が高めなので、たくさんの子たちが参加できるよう工夫したい。 SDGsについて大人にも広報が必要である。 コロナにより参加者の人数や場所等配慮をしないとけないこと。</p> <p><問題点に対する解決策></p> <p>やり方がわかつたものに対しては、講師を呼ばず、ばーりースクールでアクティビティを運営してもいいかもしれない。</p>				

事業名	ばーりースクール
実施団体名	ばーりースクール運営委員会
市民活動推進委員	<p>(1) 公益性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学べない内容を学べ、子どもたちの未来・将来を育てる良い事業である。 ・SDGsは今や公益性の「本丸」であり、広く波及効果がある。 ・各プログラムの参加者数に課題がある。事業内容はSDGsを基にしている素晴らしいと思うが、若干難しい内容も含まれており、参加者が周囲に対して波及要員となるかは難しい。 ・小学生を中心とした活動で、講師に地域住民を招聘するなど公益性は高く、大人も含め活動の範囲を広げられるとよい。 <p>(2) 自発性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱意があり、継続性に期待ができる。 ・各プログラムの内容からも、「子どもたちにこういうことを伝えたい」という思いが感じられる。また、今回で覚えた事は、次回以降自分が行うというところも、今後の事業展開に期待が持てる。 ・オンライン会議や体験学習型など、創意工夫がみられた。 <p>(3) 費用対効果及び継続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果の面では、当初の見積もりの甘さが見られた。また、委託料内訳にHPがあるが、今後の運用が課題。 ・アンケートを取らなければ費用対効果の評価ができない。事業内容を精査して、今後の事業継続に活かしてほしい。 ・活動目的は大切なテーマであり継続が求められるが、市民の関心度が低く参加人数と参加費の兼ね合いから考慮すると、参加費で収入を賄うのは困難と思う。企業等を巻き込み収入源を検討していく必要があるのではないか。 <p>(4) 団体の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識と意欲があり、今後の事業活動が期待できる。 ・SDGsに関する資格を取得するなどしており、信頼性・専門性がある。 <p>(5) 事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の満足度があり、成果・効果が期待できると思う。 ・今治市を個性的で魅力のあるまちにするための継続性のある事業であると思う。 ・今治市に特化した内容+SDGsという事で、事業内容は素晴らしい部分に着目していると思うが、全体を通しての一貫性が感じられない。もう少し事業全体に統一性を持たせれば、主催者の意図するところが、参加者に伝わりやすいのではないか。 <p><全体講評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績報告書の記載が詳細であり、効果が実感できた。 ・公的助成が終わった後も、引き続きSDGsに関する非営利活動を行う考えも表明されていたので、今後の活動にも期待したい。 ・今回が市の補助を受けて1回目ということで、非常に熱意を持って事業にあたったことはわかるが、伝えたいことが多くありすぎたのか、一貫性が感じられず全体としての評価は難しい。個々のプログラムは良いので、今後は一つ一つのプログラムにももう少し特化した内容にしてはいかかがか。今後もぜひ継続して今治の子供たちの教育の一助となしてほしい。 ・①地元愛をはぐくみ、将来の夢が決まっていく年齢対象である事②産業、自然、食に関して今治ならではの事業である。③船を動かす仕事、ネパールの子供たちとの交流など、国外への関心を持たせる事業である。①②③大いに評価できる。これからも長く続けてほしい。 ・将来まちづくりの中心となる小学生向けの企画は意味がある。 ・コロナ禍での開催にあたって苦労があったと推測されるが、熱心に事業に取り組んでいる。 ・事業内容は子どもたちの興味、関心を引くものであったと思う。このような経験を重ねることは重要であるし、継続することでよりよい効果が出てくる。そのためにも団体の中で担い手を一人だけでなく複数養成すること、財源面で企業からの協力を得るなど、長く活動していくことを今後の検討課題としていただきたい。 ・実際に一部の事業に参加したが、非常に子供たちに興味を持たせる素晴らしい内容だった。今後は子供に限らず大人も対象に教育・経験の場を作り、スタッフ・参加者も増やして、規模を拡大して多くの行事を続けることを期待する。